

令和5年度中間市子ども・子育て会議 議事録	
日時	令和6年3月25日(月) 14時～
場所	中間市役所別館3階特別会議室
出席者	委員：大迫委員(会長)、志道委員、千々和委員、友永委員、安徳委員、下川委員、岩崎委員、火山委員 事務局：保健福祉部長 冷牟田、こども未来課長 平川、子育て係長 谷口、子育て係 水野
欠席者	山口委員、小林委員、池田委員、楯山委員
傍聴人数	0人
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 保健福祉部長挨拶</li> <li>3. 委嘱状交付</li> <li>4. 自己紹介</li> <li>5. 会長選出</li> <li>6. 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 会議の目的について</li> <li>(2) 保育所開設に伴う利用定員に係る意見聴取について</li> <li>(3) 中間市子ども・子育て支援事業計画の令和4年度進捗状況報告について</li> <li>(4) その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議録の市ホームページでの公開について</li> <li>・「市町村こども計画」策定について</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>7. 閉会</li> </ol>
議事要旨	
事務局	【6. 議事】 (1) 会議の目的について を【資料1】に沿って説明
各委員	(質疑なし)
事務局	(2) 保育所開設に伴う利用定員に係る意見聴取について を【資料2】に沿って説明
安徳委員	30人の受入れは面積的に問題ないのか。どのくらいの面積で30人受入れが可能で、1人あたりの面積の基準があるのか。
事務局	面積の基準に関する資料が手元にないが、人数からすると面積の要件は満たしている。
大迫会長	法令による基準があって、それをクリアしているということでよいか。
事務局	そのとおりである。

事務局	(3) 子ども・子育て支援事業計画の令和4年度進捗状況報告について を【資料3】に沿って説明
大迫会長	質問ではないが、19ページの、子育ての仲間づくりの促進は、非常に重要ではないかと考える。子育てサロンやプラザのように、相談ではないが、いろいろな人と話しているうちに、自分で気付いていなかった困り感を発見できる、自然に自分の困っている状況を言いやすくなるといった面もあり、この取組みは良いことだと思う。
千々和委員	会議に直接関係ないが、学校教育との横の関係が分からず、とまどうことがある。国では、こども家庭庁が創設し、こどもを一体として支援していこうと動きが出ているが、幼稚園は文科省、保育園は厚労省などと、縦割りの弊害がまだ残っている。鹿児島県の薩摩川内市では、20年ほど前から、福祉と学校教育の両面から一体的な施策を進める課をつくり、取り組んでいる。現場に最も近い地方行政から国に意見を挙げてほしいし、市として縦割りの弊害がなくなるような議論や取組みを考えてほしい。
事務局	貴重な意見として、今後より良い方向に進むよう考えていきたい。
友永委員	36ページの、生命の大切さを理解する取組みについて、SOSの出し方を学ぶことは、自殺予防だけでなく、児童虐待の分野でも非常に重要である。今後も、児童虐待防止の面からも、こういった取組みを続けて保育園や学校現場に浸透させてほしい。
大迫会長	これは非常に大事なことである。こどもから身近な親にSOSのサインを出しても受け取ってもらえないこともあり、学校などで気軽に相談できる環境づくりが重要である。また、これから大人になって、ひとりだけでは解決できないことが多いので、どのように相談したらよいかの基盤づくりが、大人の見守りの中でできるのではないかと考える。
事務局	(4) その他 会議録の市ホームページでの公開について を説明
各委員	(会議資料及び議事録の市ホームページでの公開について異議なし)
事務局	(4) その他 「市町村こども計画」策定について を【資料4】に沿って説明
各委員	(質疑なし)